



萌木 5月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 小坂 力

令和 2 年 5 月 11 日発行

この時期に何を学び、何ができるか

初夏を感じる素晴らしい季節になりました。

緊急事態宣言が延長となり、調布市教育委員会から学校休業日が改めて示され、5月末まで学校が再開できない状況について大変残念で心苦しく思っています。本当に早くこの状況が収束して、みなさんの元気な顔を見て、学校での教育活動が行えるようにしたいと願っています。

さて、これまで学校ホームページで学習課題を提示してまいりましたが、これからは毎週登校日を設けて各教科の学習課題を渡し、提出日に提出してもらうことといたしました。登校日には感染防止対策を十分に行い、昇降口前で人と人との距離を離して対応していきます。

この学習課題は、まだ授業で行っていない新しい内容になっています。学校が再開してから今回からの学習課題については、各教科で改めて学習しますが、生徒のみなさんには事前に予習してもらうことを求めています。

ぜひ、事前学習において、自分の分からない部分、苦手な部分を確認しておいてください。自治体によっては、オンライン学習を行っているところもありますが、本校では十分な環境が整っていません。学校再開後も国が示している授業の標準時数が確保できない可能性もあります。その場合、1時間1時間の授業のスピードがあがるかもしれません。事前学習をすることで、授業での学習内容を確認でき学習の能率があがるので、できる限り自分の力で進めるようにしてください。



また、事前学習を行うことで、自分で学習する習慣が身に付きます。学習は、自ら進んで行うことで自分のものになるものです。この機会に「やらされる」ではなく、「自分からやる」学習にしてほしいと考えています。

生徒のみなさん、保護者のみなさまには御不便をお掛けして大変申し訳ありません。しかし、中学生のみなさんには学習する権利があり、その権利を奪うわけにはいきません。学校からの学習する機会の保障は「学習課題」というものになりますが、教職員一同生徒のみなさんが取り組んだこの「学習課題」を必ず意味のあるものにしていきます。

この状況を乗り切り、笑顔で生徒のみなさんの学校生活を取り戻せるよう、学校では準備をしています。成長したみなさんに会うのを楽しみにしています。

最後になりましたが、保護者のみなさま、関係者のみなさまのこの間の御理解・御協力に心から感謝申し上げます。

【偉人のことば】

「辛いという字がある。もう少しで幸せになれそうな字である。」(星野富弘・詩人)